

水災害に特化した体験装置を新設!! 災害をリアルに体験し、万が一に備えよう!

横浜市民防災センターは、近年、激甚化する水害への備えとして、市民の皆様には水圧の威力等をリアルに体感していただくために、実際の水を活用した水災害体験装置を新設、令和4年4月1日から体験訓練の予約受付を開始します。

また、現在実施中のVRを活用した風水害等の疑似訓練を、より多くの方々に体験していただくため「VR自由体験コーナー」を新設します。

これらの訓練を通し、早期避難の大切さについて認識を深めていただき、風水害発生時の「逃げ遅れゼロ」を目指します。

水災害体験装置



集中豪雨等で住宅地や地下街が浸水し水嵩が増すと、ドアの開放には相当の力が必要となり、しまいには不可能になります。また、水流が発生すると歩行困難となり身動きが取れなくなります。水災害体験装置は、こうした水圧の威力等を実際に体感できます。

【体験について】

- ・ 所要時間：30分
- ・ 体験人数：5~30人
- ※実施日の1週間前までに予約が必要
(実施日については、4月1日以降、HPを確認してください。)

VR自由体験コーナー



臨場感溢れるVR映像で、風水害を疑似体験できます。これまでにもVR訓練をご提供してきましたが、新たに自由体験コーナーを新設し、これまでの訓練環境を拡充します。

【体験について】

- ・ 体験人数：最大8名が同時に視聴可能
- ※4月1日から体験可能。「予約なし」で自由に体験できますが、新型コロナウイルス感染予防のため、4月から当面の間は事前予約制とします。

体験の様子を取材できる機会を設けました。希望される方は、事前に裏面問合せ先まで連絡のうえ当施設へお越しください（記者の方も体験することができます。）。

- ・ 日 時：令和4年3月26日（土） 14:30~15:30 ※小雨実施、荒天中止
- ・ 場 所：横浜市民防災センター（沢渡中央公園）

裏面あり

《体験装置等の新設の財源について》

今回の体験装置等の新設に当たり、民間企業の皆様からご寄付をいただきました。

《企業版ふるさと納税によるご寄附》

【概要】

消防局として初めて企業版ふるさと納税制度を活用し、水災害体験装置等の導入に向けた寄附の募集を行ったところ、以下の企業様から整備費用のご寄附をいただきました。

【寄附企業】※順不同

- 秋元運輸倉庫株式会社（東京都） 代表取締役社長 秋元 伸介 様
- 内外液輸株式会社（川崎市） 代表取締役 伊藤 保義 様
- 日清オイリオグループ株式会社（東京都） 代表取締役社長 久野 貴久 様
- 平沢運輸株式会社（川崎市） 代表取締役 平沢 恒久 様

※ご了承いただいた企業様のみを掲載しています。その他3社からご寄附をいただいています。

【寄附金額】

総額 1,100 万円

《物品によるご寄附》

【概要】

水災害体験装置の運用に必要となる可搬消防ポンプについて、以下の企業様から連名でご寄附いただきました。

【寄附企業】※順不同

- 米山商事株式会社（相模原市） 代表取締役社長 米山 近成 様
- トーハツ株式会社（東京都） 代表取締役社長 日向 勇美 様

【寄附物品】

トーハツ社製 可搬消防ポンプ 1台



可搬消防ポンプ

お問合せ先

消防局横浜市民防災センター所長 渡邊 史子 Tel 045-312-0119